

みんなで始めよう「こころの節電」キャンペーン実施。

実施期間2011年6月1日から



私も「こころの節電」を応援します。
ふくいブランド大使
竹下景子



みんなで始めよう こころの節電

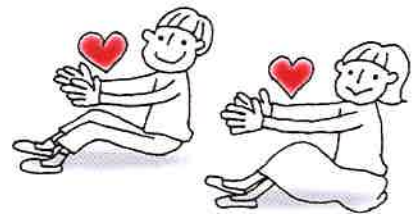
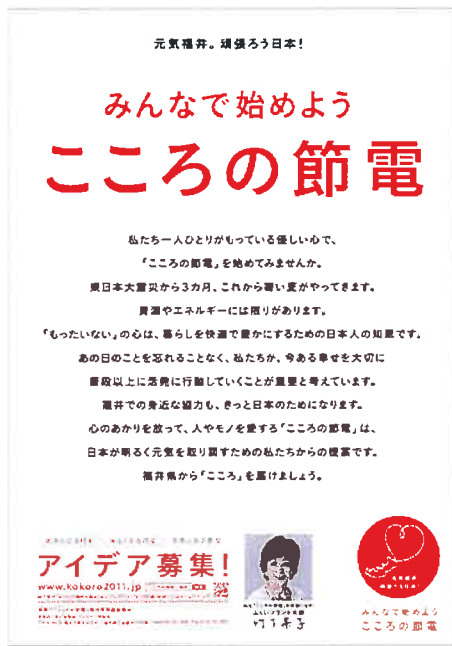
また、この取り組みには、ふくいブランド大使の竹下景子さんの協力も得て、ポスターやウェブサイトを通して広く呼びかけていただきました。

これまでの生き方をいま一度振り返り、日本人の知恵である「もったいない」の心で、節電だけでなく、モノを大切に使い、無駄をなくしていくこと、「こころの節電」キャンペーンが展開されました。福井県内の経済団体や企業などによる「こころの節電」福井県推進協議会が立ち上げられ、当懇話会は事務局を担当しました。

この取り組みに賛同した企業・団体は、700社以上となりました。県民生協の全組合員(約52000人)へのチラシ・ステッカー配布や、トラック協会所属の全トラック(約1300台)へのステッカー貼付など、多くの協力を得て、取り組みの輪が広がっていききました。

福井県が提唱する節電への取り組み「クールライフプロジェクト」とも連携し、それぞれのポスターやチラシにお互いのロゴマークを共有しました。これにより県と経済界の連携を図り、相乗効果を狙いました。こうした活動により、賛同の輪は個人へも広めることができました。

また、ウェブサイト上で節電アイデアを募集したところ、約1000名の方から応募いただき、10代から60代以上といった幅広い年齢層からアイデアが集まりました。入賞のアイデア約20件をウェブ上で紹介し、賞品贈呈を行いました。



長尾正彦氏



小林栄三氏



川田達男会長

毎年夏に福井県内の経済団体や企業のトップ、大学、国及び各県各地から毎回100余名が集まり、外交や経済・地方分権などについて議論する「福井県経済界サマースクール」を福井県経済団体連合会・福井県商工会議所連合会と共催で開催しました。

今年度は「どうなるー世界の行方、日本の針路、地方の将来」をテーマに、ワールドワイドな視点で多彩な講師陣を迎えて議論しました。

「エネルギー、中小企業の未来は」というテーマの鼎談では、伊藤忠商事(株)取締役会長の小林栄三氏、近畿経済産業局長の長尾正彦氏、当会の川田達男会長の3氏により、エネルギーのベストミックスと海外パートナー活用の重要性について話し合われました。

第5回 福井県経済界サマースクール (共催) ～エネルギー、中小企業の未来は～

日時:平成23年8月26日(金)～27日(土)
場所:ホテルハーヴェスト スキージャム勝山



左から、長尾正彦氏、小林栄三氏、川田達男会長。

APEC 2011

APEC エネルギー大臣会合
福井開催 1周年記念事業

ジュニア国際セミナー ～世界を知ろう～

(共催: 福井県教育委員会)

◎対象校 APECジュニアフォーラムに参加の県内10中学校の内希望のあった8校

- ◎講師
- 谷内正太郎氏(元外務事務次官、元APEC福井開催推進協議会特別顧問、現在早稲田大学教授 他)
 - 北畑 隆生氏(元経済産業事務次官、元APEC福井開催推進協議会特別顧問、現在助世界平和研究所副理事長 他)
 - 長谷川榮一氏(前中小企業庁長官、現在東京大学公共政策大学院教授 他)



谷内 正太郎氏
(やち・しょうたろう)

東京大学卒業後、外務省入省。総合外交政策局長、内閣官房副長官補などを経て、2008年1月まで外務事務次官。2010年APEC福井開催推進協議会の特別顧問を務めた。現在、早稲田大学教授 他。



北畑 隆生氏
(きたばた・たかお)

東京大学卒業後、通商産業省(現経済産業省)入省。大臣官房長、経済産業政策局長などを経て、2008年7月まで経済産業事務次官。2010年APEC福井開催推進協議会の特別顧問を務めた。現在、(財)世界平和研究所副理事長 他。



長谷川 榮一氏
(はせがわ・えいいち)

東京大学卒業後、通商産業省(現経済産業省)入省。内閣広報官、経済産業研究所上席研究員などを経て、2010年7月まで中小企業庁長官。現在、東京大学公共政策大学院教授 他。



「アジアと日本」北畑隆生氏/氣比中学校(敦賀市)

長谷川榮一氏は「広がる世界、狭まる世界…世界で活躍し、多くの体験をしよう!」と題し、世界で活躍するために何が必要であるかを話しました。自分で夢を持って実現することが大切で、少しでも背伸びをして可能性を広げ、その上で夢を探し、夢が達成したら次の夢を探して、どんどん可能性を広げてほしいと伝えました。ま

谷内正太郎氏は、司馬遼太郎著「21世紀を生きたる君たちへ」に書かれた言葉を引用し、「たかだかとした心」と「たくましい足どり」—中学校の皆さんへ—を演題に講演しました。司馬遼太郎の言葉になぞらえ「志」を高く持つことの大切さを述べたほか、橋本左内、華岡青洲、緒方洪庵など、幕末の志士たちの言葉や生き様も紹介し、世のため人のために自分を捧げることの大切さを説きました。

APECエネルギー大臣会合福井開催1周年記念事業として、APECジュニアフォーラムに参加した県内の中学校の生徒らを対象に「ジュニア国際セミナー」を行いました。元外務事務次官の谷内正太郎氏、元経済産業事務次官の北畑隆生氏、前中小企業庁長官の長谷川榮一氏といった、APEC福井開催に関わりの深い3名を講師に招き、「世界を知ろう」をテーマに、各学校で講演会を行いました。

た、英語の重要性を自らの経験を交えて話しました。

「アジアと日本」と題した北畑隆生氏の講演では、

- ①戦国時代〜徳川幕府
- ②幕末〜明治維新
- ③戦後〜現在

この3つに分けてアジアとの関係をひも解き、歴史の中で日本がどういった評価を受けてきたのかを紹介しました。そして、発展していくアジアの国々と共存共栄していくことが日本の重要な戦略であるとし、アジアの世界のなかで働く人が増えていくだろうと話しました。

開催学校	生徒数	開催日	担当講師	演題
1 武生第二中学校(越前市)	466名	6月14日(火)	北畑 隆生氏	「アジアと日本」
2 氣比中学校(敦賀市)	476名	10月4日(火)		
3 美浜中学校(美浜町)	270名	6月17日(金)	長谷川 榮一氏	「広がる世界、狭まる世界…世界で活躍し、多くの体験をしよう!」
4 西浦中学校(敦賀市)	12名	6月17日(金)		
5 明倫中学校(福井市)	777名	6月24日(金)	谷内正太郎氏	「たかだかとした心」と「たくましい足どり」(明倫・上志比)中学校の皆さんへ
6 上志比中学校(永平寺町)	89名	6月24日(金)		
7 上中中学校(若狭町)	261名	6月30日(木)	長谷川 榮一氏	「広がる世界、狭まる世界…世界で活躍し、多くの体験をしよう!」
8 上庄中学校(大野市)	96名	7月1日(金)		



上田 隆之氏
(うえだ たかゆき)

東京大学卒業後、通商産業省(現経済産業省)入省。資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部長、総括審議官、大臣官房長などを経て、現在、製造産業局長。APECエネルギー大臣会合福井開催時の経済産業省側の総括責任者。

「今、ここにある危機」として、円高や法人税、労働・環境規制など、日本企業が



上田隆之氏講演会 (共催: 福井県教育委員会)

◎日時 平成23年11月10日(木)
◎会場 科学技術高等学校体育館
◎演題 「ものづくりと日本の未来」
◎講師 ●上田隆之氏[経済産業省 製造産業局長]
(APEC大臣会合福井開催時の経済産業省側の総括責任者)
◎受講者 福井県立科学技術高等学校(県教育庁の推薦)全校生徒
教職員580名

日本のものづくりの将来を高校生たちに、分かりやすく解説。会場からはTPP問題などについての質問があった。

経済産業省製造産業局長である上田隆之氏を講師に、「ものづくりと日本の未来」と題して講演会を行いました。将来、日本のものづくりを担う技術者となる科学技術高等学校の生徒らを対象としており、日本のものづくりの魅力や日本の進むべき未来について、分かりやすく説明しました。

はじめに「日本のものづくりの底力」をテーマとして、いくつもの事例をもとに、日本のものづくりについて紹介し解説しました。まず、iPad2を題材に、日本のものづくりがいかに精密で、iPad2がいかに多くの日本の製品で作られているかを説明しました。また、故スティーブ・ジョブズ氏についても触れ、「私たちの生活を大きく変えた人。彼は日本のものづくりがものすごく好きだった」と語り、日本のものづくりの素晴らしさを伝えました。

そのほか、希少資源であるレアアースの中国問題について取り上げ、中国にない技術が日本にあるからこそ起こっているという解説。また、旅客機ボーイング787を取り上げて、この飛行機の大部分に使われている炭素繊維の実際を生徒たちに回し見せて、実際に目で見て触れてもらうことで、炭素繊維のすごさ、日本のものづくりのレベルの高さを実感してもらいました。そのほか、発電機の軸や「痛くない注射針」の開発など、様々な事例を紹介しました。

そのうえで

平田竹男氏講演会 (共催: 福井県教育委員会)

◎日時 平成23年11月17日(木)
◎会場 丸岡中学校体育館
◎演題 「国際人になるために」
◎講師 ●平田竹男氏[早稲田大学大学院 スポーツ科学研究科教授 工学博士]
(元資源エネルギー庁石油・天然ガス課長・元日本サッカー協会専務理事)
◎受講者 坂井市立丸岡中学校(県教育庁の推薦)1・2学年生徒・教職員480名



平田 竹男氏
(ひらた たけお)

横浜国立大学卒業後、通商産業省(現経済産業省)入省。産業政策局サービス産業室室長補佐時にJリーグの設立に携わる。退官後の2002年、日本サッカー協会専務理事としてなでしこジャパン誕生に尽力。現在、早稲田大学大学院教授、桑田真澄氏らを指導。

坂井市立丸岡中学校では、Jリーグ設立やサッカーくじ創設、近年では女子サッカーの普及や「なでしこジャパン」の誕生に尽力したことで知られる、平田竹男氏の講演会を行いました。経済産業省時代のエネルギー・資源交渉や、日本サッカー協会時のスポーツ外交などの経験から、これからグローバル社会を生き抜く、国際的視野をもった人材育成を目指し、次世代を担う中学生に向けて講演しました。

最初に、「世界に出ていく上で自分の町を説明できることが大切とし、丸岡には初めて訪れましたが、サッカーで有名なので知っていました。丸岡に



身近な人気スポーツを軸とした内容とあって、興味津々の表情で生徒らは熱心に耳を傾けて、多くの生徒らが質疑応答で挙手をしていた。

はお城もあります。自分の町に誇れるものがあるというところは、国際社会に出る上で大切なので、そうしたものを大切にしたい」と語りました。

また、「演題を『アウェイでも戦えるために』というタイトルにしても良いかなという内容です」という平田氏の言葉もあり、国際社会で活躍するには何が大切で、どうすればいいのかということをも、スポーツを軸にお話いただきました。

そのなかで、なでしこジャパンの国際試合やテニスの錦織選手が世界ランキング上位に入ったことを引き合いに、「コンディションの良い状態をどうやって維持するかが大切であり、そういう人が国際社会で強い人。世界のルールを知ること、上位を目指すためには必要」と話されました。

丸岡中学校がスポーツ校ということもあってか、生徒たちは皆、熱心に話を聞いていました。最後の質疑応答では多くの生徒たちが手を挙げ、「どうすれば澤選手のような良いキャプテンになれるか?」「精神力を強くするためにどうすればいいですか?」「スランプからどうやって抜け出せばいいですか?」など、さまざまな質問を平田氏に投げかけました。特にサッカー部の生徒からの質問が多くみられました。平田氏には時間の許す限り多くの質問に答えていただき、生徒たちにとって有意義な時間となりました。最後に、女子サッカーをやっている女生徒によるお礼の言葉で、閉会となりました。



世界を見つめ日本のエネルギーを考える、特別講演会を実施。「福井という資源立地県において、エネルギー政策の議論をさせていただき大変うれしく思っています」と田中氏。

わかりやすいエネルギー国際情勢特別講演会

(共催：福井県経済団体連合会・福井県商工会議所連合会 後援：福井県・資源エネルギー庁)

- ◎日時 平成23年9月28日(水)
- ◎会場 福井商工会議所ビル コンベンションホール
- ◎内容 来賓スピーチ
 ●「エネルギー政策の方向性について」資源エネルギー庁次長 今井 尚哉氏 講演
 ●「どうなる！世界のエネルギー」～世界のエネルギー情勢と我が国のエネルギー戦略～ 講師：IEA(国際エネルギー機関)前事務局長 田中 伸男氏
- ◎参加者 290名

APEC(アジア太平洋経済協力)エネルギー大臣会合福井開催1周年記念として、IEA(国際エネルギー機関)事務局長を昨年8月に退任された田中伸男氏の特別講演会を実施しました。「どうなる！世界のエネルギー」世界のエネルギー情勢と我が国のエネルギー戦略をテーマに、世界のエネルギー情勢の中での日本、また世界から日本がどう見られているのかをお話いただきました。

東日本大震災、および福島第一原子力発電所の事故以降、日本の政策に国際的な関心が持たれています。世界を見つめながら、これから20年、30年先のエネルギー政策を議論してほしい、と田中氏は述べられました。また、IEAは、原子力発電の割合は低下する一方で、石油、天然ガス、再生可能エネルギーの需要が増加し、エネルギー備

格が押し上げられ、CO₂排出の伸びも増える予想されています。これを踏まえて、エネルギー自給率が低い日本にとって、省エネ、再生可能エネルギーに加えて、原子力発電は安全確保を前提に重要な選択肢だという見解を示しました。

なお、田中氏、資源エネルギー庁次長の今井尚哉氏、当懇話会の川田達男会長との鼎談も同時に行いました。



IEA(国際エネルギー機関)前事務局長である田中伸男氏。



福井商工会議所ビルコンベンションホールに集まった、約290名の参加者。

田中 伸男(たなかのぶお)氏
 東京大学経済学部卒、1973年に旧通産省入省。通商政策局総務課長、米国大使館公使、通商政策局通商機構部長などを経て、2004年からOECD(経済協力開発機構)科学技術産業局長。2007年から2011年8月末まで、IEA(国際エネルギー機関)第5代事務局長。現在、財団法人日本エネルギー経済研究所特別顧問。



左から、川田達男会長、田中伸男氏、今井尚哉氏。

新聞紙上鼎談 「エネルギーの未来と日本の役割、福井への期待」

掲載日：平成23年10月23日(日)
 掲載紙：福井新聞 全15段
 内容：前IEA事務局長 田中 伸男氏
 資源エネルギー庁次長 今井尚哉氏
 福井県環境・エネルギー懇話会会長 川田 達男
 上記3氏による新聞紙上鼎談(実施日：平成23年9月28日)
 進行：福井県商工会議所連合会 企画広報部長 峠岡 伸行氏



「エネルギーの未来と、日本の役割、福井への期待」と題して、田中伸男氏、今井尚哉氏、川田達男会長ら3人による鼎談が行われました。

まず、世界のエネルギー情勢と問題点、日本にとって、安定的に安く、環境にやさしいエネルギーの確保が重要であると、話し合われました。また、エネルギーの未来に向け、日本、福井の果たす役割は大きく、福井県は電源立地県として、これまで蓄積されたノウハウなどを「安全」に向けて大いに生かしていくべきと述べられました。



田中伸男氏



川田達男会長



今井尚哉氏

経済産業省資源エネルギー庁受託事業
第12回エネルギー・環境教育セミナー〈放射線等に関する教育職員セミナー〉

◎日時 平成23年11月24日(木)
 ◎場所 福井商工会議所ビル コンベンションホール・国際ホール
 ◎内容

- 放射線学習の模擬授業
 講師:福井工業大学 教授 砂川 武義氏
 受講者: 鷹巣中学校(福井市)3年生26名
- ワークショップ・実験
 内容:霧箱の実験と観察、放射線授業に関するグループ討議・発表
 進行:原子力安全研究協会
- 基調講演
 テーマ:「これからのエネルギー・環境教育」
 講師:文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 清原 洋一氏
- 総合講評 京都教育大学 教授 山下 宏文氏

◎参加者 県内小中高校教諭及び関係者65名



清原 洋一氏
 (きよはら・よういち)
 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官。茨城県立取手第一高等学校教諭、茨城県教育研修センター情報教育課指導主事、等を経て2002年より現職。国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官を併任。



砂川 武義氏
 (すなかわ・たけよし)
 福井工業大学教授。日本学術振興会特別研究員、大阪大学客員助教授、等を経て2011年より現職。日本放射線化学会理事。ふくい理数クラブ実行委員会アドバイザー、原子力・エネルギー教育推進支援事業推進委員会アドバイザー他。



模擬授業の放射線測定実験風景。3〜4人1組で船底塗料を測定したほか、アクリル、アルミ、ステンレスの遮蔽率の違いを測り理解した。



鷹巣中学校3年生を生徒に、模擬授業を実施。放射性物質の半減期や放射線の単位、自然界の放射線についてなど学習。

学習指導要領改定で約30年ぶりに放射線学習が復活することになりました。それに応じて、第12回エネルギー・環境教育セミナーでは、「放射線等に関する教育職員セミナー」を開催しました。

まず、鷹巣中学校3年生の皆さんを生徒に、福井工業大学教授の砂川武義氏による放射線学習模擬授業が行われました。スライドを交えながら、福井県のエネルギー事情や放射性物質、放射線の単位などを説明し、「はかるくん」を用いて、実際に放射線を測る実験を行いました。

続いての基調講演では、文部科学省の教科調査官、清原洋一氏が、「これからのエネルギー・環境教育」をテーマに、学習指導要領改訂に伴いエネルギー・環境教育をどう行えばいいのかを中心に話されました。講演後は小学校教諭、中学校、高等学校教諭に分かれ、グループ討議を行いました。授業のなかでどのようなテーマを取り上げるかを決め、材料やストーリーを組



【山下先生講評要旨】
 中学校理科で放射線が扱われるようになり、社会でも放射線が大きな話題となっています。原子力発電は国民一人一人が選択していくべきもので、そのためには教育において、必要な認識をきちんと養う必要があります。福井県がその教育の見本を示していただければありがたいと思います。

山下 宏文(やました・ひろみ)氏
 小学校教諭を経て、1996年に京都教育大学教育学部助教授、2002年より現職。環境教育、社会科教育専門。日本エネルギー環境教育学会副会長、日本教材学会常任理事。2003年より当懇話会の環境・エネルギー教育問題懇話会座長。

総合講評を語る山下宏文氏



4〜6名1組となり、小中高5グループに分かれて行われた「授業を作る」ワークショップ。授業のテーマや材料、ストーリーについて討議した。

み立てる「授業を作る」ワークショップをして、グループ毎に発表しました。また、放射線の軌跡を見る実験・観察のための霧箱を見学しました。

セミナーの最後に、京都教育大学教授・山下宏文氏から総合講評をいただきました。

アンサンブル金沢 弦楽四重奏の夕べ in 大野

(共催:大野商工会議所)

◎日時 平成23年11月7日(月)
 ◎会場 大野市まちなか交流センター
 ◎演奏 オーケストラ・アンサンブル金沢メンバー
 ◎参加者 220名



オーケストラ・アンサンブル金沢の皆さん。

平成23年度で創立60周年を迎えた大野商工会議所と、「弦楽四重奏の夕べ」を共催しました。これまでアンサンブル金沢の演奏会は福井での開催が中心でしたが、今回は正会員メンバーである各地域の商工会議所と取り組む連携事業の一環として、大野で開催しました。この演奏会の参加者へは、当懇話会の会報などを配布して、地域の皆さまにも当懇話会への理解を深めてもらうこととしました。

クラシック音楽だけでなく童謡を交え、親しみやすい曲目を中心に演奏され、主婦や子どもたち、お年寄りまで、幅広い層の方々に楽しんでいただけた。

2011年度 **事業活動報告**

講演会・セミナー・イベント

みんなで始めよう「こころの節電」キャンペーン

＊「こころの節電」福井県推進協議会発足式(事務局:当会)
 ◎日時 平成23年6月1日(水)
 ◎会場 福井商工会議所ビル 国際ホール
 ◎参加者 53企業、団体の代表者



＊「こころの節電」キャンペーンの取り組み
 ◎対象 県内の団体・企業および一般住民
 ◎内容 ①ポスターおよびステッカーの掲示・貼付
 ②新聞広告
 ③ラジオ広告(竹下景子さんのメッセージ文朗読)
 ④Webによる全国発信と「豊かになる節電」「楽しくなる節電」「元気になる節電」のアイデア募集
 ◎結果 ①賛同・協力の団体・企業数 700社以上
 ②Webによる全国からのアイデア応募数 約100件

第5回 福井県経済界サマースクール(共催)

◎日時 平成23年8月26日(金)～27日(土)
 ◎会場 勝山東急ハーヴェストホテル(スキー・ジャム勝山)
 ◎主催 福井県経済団体連合会、福井県商工会議所連合会
 ◎テーマ 「どうなる!!世界の行方、日本の針路、地方の将来」
 ◎講師 外務事務次官 佐々江 賢一郎氏
 近畿経済産業局長 長尾 正彦氏
 伊藤忠商事取締役会長 小林 栄三氏/財務省財務総合政策研究所客員研究員 瀧波 宏文氏
 日本テレビ放送網報道局キャスター 苗吹 雅子氏/福井県知事 西川 一誠氏
 福井県経済団体連合会 川田 達男会長
 ◎参加者 124名



わかりやすい エネルギー国際情勢特別講演会

◎日時 平成23年9月28日(水)
 ◎会場 福井商工会議所ビル コンベンションホール
 ◎内容 ①来賓スピーチ「エネルギー政策の方向性について」
 資源エネルギー庁 次長 今井 尚哉氏
 ②講演「どうなる!世界のエネルギー」
 ～世界のエネルギー情勢と我が国のエネルギー戦略～
 IEA(国際エネルギー機関)前事務局長 田中 伸男氏
 ◎共催 福井県経済団体連合会・福井県商工会議所連合会
 ◎後援 福井県・資源エネルギー庁
 ◎参加者 290名



北陸技術交流テクノフェア2011(共催)

◎日時 平成23年10月20日(木)～21日(金)
 ◎会場 福井県産業会館、福井県生活学習館、
 福井県中小企業産業大学など
 ◎テーマ 「北陸から発信。日本を元気にする技術。」
 ◎主催 同フェア実行委員会
 ◎内容 展示会、記念講演会、技術相談、商談会 他
 ◎来場者 17,411名



アンサンブル金沢 弦楽四重奏の夕べ IN大野

◎日時 平成23年11月7日(月)
 ◎場所 大野市まちなか交流センター
 ◎共催 大野商工会議所
 ◎演奏 オークストラ・アンサンブル金沢メンバー
 ◎参加者 220名



平田竹男氏を囲む正会員懇談会

◎日時 平成23年11月17日(木)
 ◎会場 福井商工会議所ビル 特別会議室
 ◎卓話 「最近の大学キャンパスでは」
 ◎共催 福井県経済団体連合会
 ◎講師 早稲田大学大学院スポーツ科学研究科 教授 平田 竹男氏
 ◎参加者 当会正会員 15名



広報

新聞広報(新聞紙上鼎談)

◎テーマ 「エネルギーの未来と日本の役割、福井への期待」
 ◎掲載日 平成23年10月23日(日)
 ◎掲載誌 福井新聞 全15段
 ◎内容 前IEA事務局長 田中 伸男氏
 資源エネルギー庁次長 今井 尚哉氏
 福井県環境・エネルギー懇話会会長 川田 達男
 ※上記3氏による新聞紙上鼎談
 (実施日:平成23年9月28日)
 [進行] 福井県商工会議所連合会 企画広報部長 昨岡 伸行氏



会報 E&E レポートの発行(Vol.48号)

◎仕様 タブloid版 6頁
 ◎内容 平成23年度の主な事業活動、取り組みについて掲載
 ◎発行 平成24年3月31日

サマースクール特集号制作協力

(県経済団体連合会に制作協力)

◎仕様 タブloid版 4頁
 ◎内容 過去5回開催分のダイジェスト版
 ◎発行 平成23年11月1日



教育支援

APECエネルギー大臣会合 福井開催1周年記念事業

(1)「ジュニア国際セミナー～世界を知ろう～」(共催:福井県教育委員会)
 ◎対象校 APECジュニアフォーラムに参加の県内10中学校の内
 希望のあった8校
 ◎講師 ①谷内 正太郎氏(元外務事務次官)
 ②北畑 隆生氏(元経済産業事務次官)
 ③長谷川 梁一氏(前中小企業庁長官)
 (2)「上田隆之氏講演会」(共催:福井県教育委員会)
 ◎日時 平成23年11月10日(木)
 ◎会場 科学技術高等学校体育館
 ◎演題 「ものづくりと日本の未来」
 ◎講師 上田 隆之氏[経済産業省 製造産業局長]
 (APEC大臣会合福井開催時の経済産業省側の総括責任者)
 ◎受講者 福井県立科学技術高等学校(県教育庁の推薦) 全校生徒・教職員 580名
 (3)「平田竹男氏講演会」(共催:福井県教育委員会)
 ◎日時 平成23年11月17日(木)
 ◎会場 丸岡中学校体育館
 ◎演題 「国際人になるために」
 ◎講師 平田 竹男氏[早稲田大学大学院 スポーツ科学研究科教授 工学博士]
 (元資源エネルギー庁 石油・天然ガス課長・元日本サッカー協会専務理事)
 ◎受講者 坂井市立丸岡中学校(県教育庁の推薦) 1・2学年生徒・教職員 480名



第12回 エネルギー・環境教育セミナー(放射線等に関する教育職員セミナー)

(経済産業省資源エネルギー庁の受託事業)
 ◎主催 経済産業省 資源エネルギー庁
 ◎主管 福井県環境・エネルギー懇話会、
 公益財団法人 原子力安全研究協会
 ◎後援 福井県教育委員会
 ◎日時 平成23年11月24日(木)
 ◎場所 福井商工会議所ビル コンベンションホール・国際ホール
 ◎内容 ①放射線学習の模擬授業
 講師:福井工業大学 教授 砂川 武義氏
 受講者:置業中学校(福井市) 3年生 26名
 ②基調講演
 テーマ:「これからのエネルギー・環境教育」
 講師:文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 清原 洋一氏
 ③ワークショップ・実験
 内容:霧箱の実験と観察、放射線授業に関するグループ討論、発表
 進行:原子力安全研究協会
 ④総合講評 京都教育大学 教授 山下 宏文氏
 ◎参加者 県内小中高教師及び関係者 65名



環境・エネルギー教育問題懇談会

◎日時 ①平成23年7月22日(金)
 ◎会場 福井市地域交流プラザ(アオッサ)会議室
 ◎議題 環境・エネルギー教育支援事業について
 第12回エネルギー・環境教育セミナーの企画について
 ◎出席者 委員15名
 ◎日時 ②平成24年2月24日(金)
 ◎会場 福井商工会議所ビル 国際ホール
 ◎議題 第12回エネルギー・環境教育セミナーの開催結果について
 次回セミナーの方向性について
 ◎出席者 委員12名



出前授業および施設見学

●岡保小学校(福井市)/出前授業
 ◎日時 平成23年6月23日(木)
 ◎内容 電気の仕組みと発電体験/地球温暖化実験学習
 (支援:北陸電力株)
 ◎対象 4年生23名
 ●啓新高等学校(福井市)/校外学習
 ◎日時 平成23年5月20日(金)
 ◎内容 日本原子力研究開発機構「MCスクエア」見学
 ◎対象 3年生26名
 ●勝山南部中学校(勝山市)/校外学習
 ◎日時 平成23年5月26日(木)
 ◎内容 日本原子力研究開発機構「MCスクエア」見学
 ◎対象 1年生3クラス88名
 ●福井工業大学附属福井高等学校(福井市)/校外学習
 ◎日時 平成23年8月19日(金)
 ◎内容 日本原子力研究開発機構「MCスクエア」見学
 ◎対象 1年生16名
 ●啓新高等学校(福井市)/校外学習
 ◎日時 平成23年10月14日(金)
 ◎内容 関西電力株 美浜原子力発電所見学
 ◎対象 3年生25名
 ●仁愛大学(越前市)/校外学習
 ◎日時 平成23年11月5日(土)
 ◎内容 関西電力株 美浜原子力発電所見学
 福井原子力センター あっとほーむ見学
 ◎対象 1年生86名

